

校長室だより(No.21)

令和3年9月15日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

身近な化石…

恐竜大好き



丹波竜を活用した学習



発掘体験



前は、子どもたちの体験についてお話をしました。兵庫県では、様々な「体験」を大切に「兵庫型体験教育」を推進しています。丹波市において実施されている体験学習の中に「丹波竜」を活用したものがあります。丹波竜は、山南町の篠山層群において2006年8月7日に初めて発見された、ティタノサウルス形類と考えられる恐竜の化石です。6年生では、理科で「大地のつくり」を学習します。この中で地層について学習し化石についてもふれることになっています。発掘体験や「ちーたんの館」の見学などをこれまで行ってきました。子どもたちにとって恐竜や古代生物、化石に興味を持つよい機会と考えます。

子どもたちは恐竜が大好きです。しかし、恐竜化石といとなかなか身近にはないものです。先に紹介した発掘体験でも恐竜の化石が出てくるのは稀です。(発見されても専門家でないと化石と判別できないものもあります。)そこで、身近な生物の化石を見つけてみても面白いと思います。チャートという石は丹波市内ならどこでも見つけることのできる岩石です。河原にもよく転がっています。赤いものや白いものがあり子どもたちでも簡単に判別できます。チャートは、珪石と呼ばれたこともあります。この石には、「放散虫」化石が含まれていることがあります。

「放散虫」は海にいるプランクトンの一種で、二酸化ケイ素でつくられた殻をもっています。そのため化石として残りやすい生物と言われています。大きさは0.1mmから0.2mm程度のもので多く、ルーペがないと見つけられない小さなプランクトンです。この化石が多く含まれている石がチャートです。チャートはとても硬い石で色は赤、白、しま模様の入ったものなどいろいろなものがあります。見つけ方は、このチャートの表面を濡らして10倍以上のルーペで観察します。

チャートは、深海に降り積もった放散虫の死骸がもとになって作られたと石であると言われています。このチャートを含む地層が、丹波市多く分布しています。昔、この石を採掘していた場所が丹波市に多くありました。そのため山に行かなくても庭石として使われていたり、校庭の隅に転がっていたりします。その意味でこの「放散虫」化石は、とても身近な化石といえることができます。

チャートを水で濡らして観察してみてください。黒っぽくて丸いつぶつぶが見つかったら化石かもしれません。